

グローバルな人材育成から地域創生！



県立翔陽高等学校

～専門高校生が海外インターンシップを通して、未来の自分を探る～

はじめに

平成28年10月23日（日）～29日（土）までの期間、県内の工業関係高校生10名が参加した「専門高校生による海外インターンシップ事業」が実施されました。本校からは、電気・電子を専攻する2年生の生徒がアメリカ合衆国デトロイト、シカゴ、シアトルの3都市で研修を行いました。



ヘンリー・フォード博物館にて

アメリカ合衆国でのインターンシップ体験

県教育委員会では、熊本県世界チャレンジ支援基金活用事業の一環で、専門高校生が県内企業の海外進出先においてインターンシップや企業視察、現地高校生との交流活動等を体験することで、国際的な感覚と広い視野を持ち、将来は本県産業界の発展に寄与するグローバルな人材の育成に取り組んでいます。

研修内容

〔アメリカ滞在1日目 10月23日（日）：ミシガン州デトロイト〕

日本を出発し、約11時間かけてアメリカ合衆国へ到着しました。初めに、1929年にヘンリー・フォードによって創設されたヘンリー・フォード博物館を見学しました。



歴代大統領の専用車→

〔アメリカ滞在2日目 10月24日（月）：ミシガン州デトロイト〕

平田機工株式会社：Hirata Corporation of America ニューハドソン工場でのインターンシップでは、英語による自己紹介の後、広い工場内を見学し、本県企業が世界で活躍されている様子を肌で感じる事ができました。また、生徒一人ひとりが日頃の授業の製作物（鋳造の表札やLEDを用いた竹灯籠等）をロンゴ社長に英語で紹介し、お褒めの言葉やアドバイスをいただき、今後の学習への意欲向上につながりました。



ロボット制御技術について説明



積極的な意見交換



ロンゴ社長との記念撮影

[アメリカ滞在3日目 10月25日(火):イリノイ州シカゴ]

「建築の町」シカゴでは、リバークルーズ研修や旧帝国ホテルを設計したフランク・ロイド・ライトの自宅兼スタジオの見学により、新旧建築物の構造について学びました。また、科学と産業について実物を通して体験しながら学ぶことのできるシカゴ科学産業博物館も訪問しました。



リバークルーズ研修



フランク・ロイド・ライトの
世界観に触れる



ドイツ軍のUボートの実物展示
～シカゴ科学産業博物館～

[アメリカ滞在4日目 10月26日(水):ワシントン州シアトル]

シアトル初日は、世界最大のボーイング社エベレット工場を訪問しました。飛行機の組立ラインを実際に見学し、スケールの大きさと高い技術力を実感しました。また、現地社員の方に多くの質問をすることができました。



工場見学後、現地社員の方と記念撮影



現地社員の方に質問をする派遣生徒

[アメリカ滞在5日目 10月27日(木):ワシントン州シアトル]

リンドバーグ高校を訪問し、同じく工業を学ぶアメリカの高校生たちと授業を体験、ランチ交流会では活発に意見交換するなど親睦を深めました。その後、マイクロソフト本社を訪問し、ビジターセンターで最新のソフト等を体験後、日本人社員の方と意見交換を行いました。



研修の感想

平田機工のニューハドソン工場の見学では、ロボットを制御するソフトウェアの開発現場を見たり、実際にロボットの部品などに触れたりして、今学んでいる知識が、世界共通の技術であることを認識できました。

今一度海外へ行き、語学を学び、自分の考え方をもっとグローバルなものにしたいです。また、私の家は酪農をしています。熊本の農業そして工業の技術を、世界に発信して、故郷を盛り上げるような仕事に就ければと考えています。

帰国後の取り組み:「地域に貢献したい」

参加生徒は将来の職業選択に悩んでいましたが、派遣研修終了後2つの思いが目標となりました。

「語学力を向上させたい」「地域に貢献したい」

参加生徒の夢は「語学力をつけて、酪農など熊本の農業そして、工業の技術を海外に売り込んでいきたい」とのことです。今回の研修をとおして、もっと自分が暮らす地域のことを知りたいという高い意欲にはつながったと思われます。夢を叶えて、熊本の産業を世界にアピールできる人材になってくれると期待します。

